

超高速32bit天体画像処理装置システム

ASTIPS/DSPT9506

(有)荒川電機 / TOSHIBA

荒川電機の天体画像処理技術と東芝の画像処理システムがタイアップして、超高速天体画像処理システム **ASTIPS** を開発しました。

世界トップレベルのイメージプロセッサ「T9506」を核に、多様なユーザ要求（ボードレベルから大型システムまで）に応える超高速、多機能、コンパクトな画像／信号処理システム。

■主要諸元

- FET演算速度が世界一
- 高精度32ビット演算を実行
- クロック周波数10MHz
- 画像メモリは512×512×8×3系統
- 高速データバス転送機能(10Mbyte/sec)
- IEEE-796(マルチバス)コンパチブル

■主要処理速度

入力クロック周波数		10MHz
演算速度	F F T	2.0ms/1024 points, complex
	空間フィルタ	1.0 μ s/pixel(3×3 mask)
	アフィン変換	400ns/pixel
	ヒストグラム	700ns/pixel
	積和演算	100ns/term(64 bit sum)

このシステムは命令、表示などの機能をパソコンに任せて、画像処理演算そのものはDSPT9506本体で行うため、スーパーミニコン並みの超高速処理を達成しています。

- ★豊富なオプションボード群(ITVボード、モニタボード、A/Dボード、フレームメモリボードなど)
- ★使いやすいコマンド形式のソフトウェア

- ★ソフトウェアの開発が容易に行えるサブルーチンライブラリー
- ★パソコンにも接続可(PASOPIA 1600、PC9801、IBM PC/ATはコマンドで対応可能)

〔画像処理システム例〕

